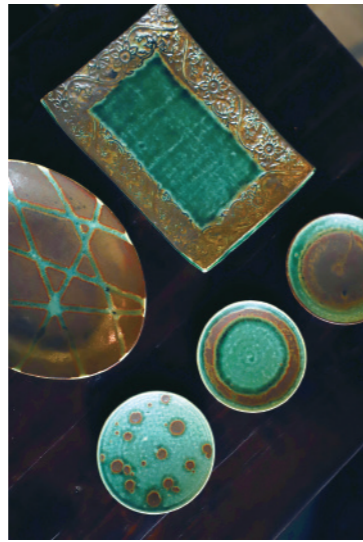


津屋崎千軒をめぐる

そらいろ名物・ナポリタンとカツカレーを組み合わせた「トルコライス」1200円。



鉄や銅を混ぜた釉薬(ゆうやく)で焼いた、大小様々な食器はどれも使い勝手のいいサイズだ。

緑の器で料理引き立つ
地元にも愛される食堂

津屋崎千軒の古刹・教安寺の
はず向かいにある小さな食堂。
カラカラと引き戸を開けると、
木造の学校をイメージさせる板
壁に給食の献立表のようなメニ
ュー黒板が掲げられている。陶芸
作家でもある店主・大浦加和さ
んは、自身が焼いた器に、トルコ
ライスや昔なつかしいナポリタ



玄関に掛けられた石板の表札も味わいがある。

そらいろ
小さな食堂と
うつわのお店

〒 福津市津屋崎3-27-5
☎ 0940-52-6760
🕒 11:30~OS19:30
※品切れ次第閉店
📍 水・木曜 📅 2台



日替りのデザートはドリンクセットで600円〜。写真は福津産の大豆を使った手作り「豆花」とジャスミン茶のセット。



理科系雑貨の中でも指先サイズの小さな秤量瓶(ひょうりょうびん)は作りが繊細で美しい。



フェルトのプローチは岩永さんのハンドメイド。小さな陶器の動物たちもとても可愛いらしい。

ここは市に寄贈された古民家を
を改修し、再び賑わいを生み出す
ことを目的に運営されるチャレン
ジショップ。玄関から奥へと続く
昔ながらの土間。居間には応接ソ
ファがどしり構え、店内には店
主・岩永美保さんが各地から集め
てきた雑貨が並ぶ。古民芸や古
食器、ご自身が作ったハンドメ
イド小物や、店主が一番ハマって
いるという薬瓶や標本類を集めた
理科系雑貨など、どこか懐かし
く愛着を感じさせる物ばかり。
手作りスイーツを味わいながら、
ユニークで優しさあふれる「猫ル
ールド」にハマってしまいそう。

なんだかじんわり癒される
実家にあるような雑貨たち



店名の「猫ル」は娘さんが名付け親。トレードマークのネコの絵も娘さんが描いたという。



猫ル百貨店

〒 福津市津屋崎
4-12-23
☎ 0940-52-4234
🕒 10:00~17:00
📍 火曜 📅 5台



津屋崎から玄界灘の島々を
一望できる特等席

大豆ミートで作ったサクサクの唐揚げを乗せたヘルシー志向の「からあげ丼」1200円。



大きなガラス窓から、相島、能
古島、玄界灘など、玄界灘の島々
を一望できるレストランカフェ。
建物は、文化財の修復や建築デ
ザインを手がける店主・米倉一成
さんが建てたもので、店内には米
倉さんの趣味でもある多肉植物
をはじめ、マアも欲しいがる珍しい
植物が多数置かれ、まるで植物
園の様だ。カフェの営業は妻・真
由美さんが担当。ローカロー・大
豆ミートを使った「からあげ丼」
や、混ぜると美味しさ倍増の「キ
ーマ&マサラカレー」が人気だ。



陽光差し込む明るい店内。

津屋崎テラス

〒 福津市津屋崎3-15-22
☎ 0940-55-5561
🕒 11:00~17:00
📍 火・水曜、第1日曜
📅 15台



バイクツーリングがお二人共通の趣味という米倉さんご夫妻。英国バイクの伝統を受け継ぐノートン・コマンドが奥で光っている。



『こはんや古小路』を担当する三姉妹。もとは芹野さん(手前)の義父母が営むたばこ屋さんだった。『こはんや古小路(日曜)』の「日替りランチ」900円はすべて手作りでも味も満足!



地元の食材を使って作る甘さ控えめな「田舎のお菓子屋さんティグレ(月曜)」の焼き菓子。

古くから親しまれてきたタバコ
屋さんが、日替わりで店主が入れ
替わるカフェ&ギャラリーとして
生まれ変わった。土間やタバコ屋
だったスペースはそのまま残り、奥
の間を食事や手作り作品を展示
できるカフェスペースに改装した。



カフェ&ギャラリー古小路

〒 福津市津屋崎4-34-1
☎ 070-4746-2855
🕒 11:00~16:00くらい
📍 不定 📅 2台
[HP] kosyouji.com/
※各店営業日はHPを要参照



広々とした土間と、タバコ屋だった頃の面影が残る店内。

月曜は「田舎のお菓子屋さんティグレ」、火曜は「さっかカフェ萃」
2E」、第1・3水曜は「芹野万十
店」、第2・4水曜は「お花と紅
茶の時間」、土曜は「こはん屋」も
も」とカフェ「FCV」、そして日
曜は「こはんや古小路」という具
合だ。店は不定期に入れ替わる
が、津屋崎の風情を感じ、癒され
る場として固定ファンも多い。

昔ながらのタバコ屋さん
日替わりで古民家カフェに